

CASBEE京都-新築(2015年版)
(仮称)京都市下京区東塩小路町ホテル計画

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築(2015年版)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音					3.4	0.15	3.4	1.00	3.4	
1.2 遮音					3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2.1 開口部遮音性能					5.0	0.40	4.1	0.40		
1.2.2 1 開口部遮音性能				サッシ遮音性能T-2以上を使用	5.0	1.00	5.0	0.30		
1.2.2 2 界壁遮音性能							2.0	0.30		
1.2.2 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				住)個室TB5 Lr値=30			5.0	0.20		
1.2.2 4 界床遮音性能(重量衝撃源)				住)個室TB5 Lr値=30			5.0	0.20		
1.3 吸音					1.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境										
2.1 室温制御					2.1	0.35	2.5	1.00	2.3	
2.1.1 室温					3.2	0.50	4.0	0.50		
2.1.1 2 外皮性能				冬期23℃夏期25℃の空調設備容量	3.0	0.38	4.0	0.57		
2.1.1 3 ゾーン別制御性				屋根・外壁側に断熱材(ホリスチ板・ウレタン吹付等)、複層ガラスを採用	4.0	0.25	4.0	0.43		
2.2 湿度制御					3.0	0.38				
2.3 空調方式					1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3.1 空調方式					1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境										
3.1 屋光利用					2.7	0.25	3.0	1.00	2.9	
3.1.1 1 屋光率	●自然	A(全国版準用)		共)ロビ- 2.776%以上 住)個室TB5 3.418%以上	4.2	0.30	4.2	0.30		
3.1.1 2 方位別開口					5.0	0.60	5.0	0.60		
3.1.1 3 屋光利用設備	●自然	B(推奨内容)			3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策					1.0	0.30	3.0	0.30		
3.2.1 1 屋光制御	●自然	B(推奨内容)			1.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度					3.0	0.15	1.0	0.15		
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気環境										
4.1 発生源対策					4.2	0.25	3.6	1.00	3.8	
4.1.1 1 化学汚染物質					4.0	0.50	4.0	0.63		
4.1.1 2 アスベスト対策				F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気					4.0	0.30	3.0	0.38		
4.2.1 1 換気量					5.0	0.50	5.0	0.33		
4.2.1 2 自然換気性能	●自然	A(全国版準用)		共)ロビ- 住)個室TB5で1.4倍以上確保			1.0	0.33		
4.2.1 3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理					5.0	0.20				
4.3.1 1 CO ₂ の監視										
4.3.1 2 喫煙の制御				喫煙場所は十分な流出対策を実施	5.0	1.00				
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ					2.4	0.40	2.0	1.00	2.1	
1.1.1 1 広さ・収納性					3.0	0.40	2.0	0.60		
1.1.1 2 高度情報通信設備対応							1.0	0.50		
1.1.1 3 バリアフリー計画	●大切	D(独自基準)			3.0	1.00	3.0	0.50		
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40		
1.2.1 1 広さ感・景観	●とも	C(独自加点)					3.0	0.50		
1.2.1 2 リフレッシュスペース										
1.2.1 3 内装計画	●自然	D(独自基準)			1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理					3.0	0.30				
1.3.1 1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50				
1.3.1 2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50				
1.3.1 3 衛生管理業務										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震					3.1	0.30			3.1	
2.1.1 1 耐震性					3.0	0.50				
2.1.1 2 免震・制振性能					3.0	0.80				
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20				
2.2.1 1 躯体材料の耐用年数	●大切	A(全国版準用)			3.1	0.30				
2.2.1 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.20				
2.2.1 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					2.0	0.20				
2.2.1 4 空調換気ダクトの更新必要間隔					2.0	0.10				
2.2.1 5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.10				
2.2.1 6 主要設備機器の更新必要間隔				給湯:SUS(C)、給水:塩ビライン(®) 汚水:耐火二層(®)、Eは不使用	5.0	0.20				
					3.0	0.20				

